

## 【総会議事録】

開催日時：2010年9月23日（木）16時00分～17時15分

開催場所：金沢大学角間キャンパス自然科学大講義棟 大講義室A

出席者の確認の結果、事前投票者と委任状送付者を合わせた総数（会場参加者との重複は除く）は305名、会場参加は176名であった。

（出席者のうちで事前投票をしたものは事前投票の方を無効とした。）したがって有効参加者総数は481名で定足数（正会員総数1755名の5分の1＝351名）を満たしていることを確認した。

議長は規約に則り國枝理事長が務めた。次に署名人として千葉柁司氏、比田井昌英氏が選出された。

議事の経過並びに結果：

1. 竹田理事が資料に基づき、2011年度事業計画書案の説明を行った（第1号議案）。
2. 田代理事が資料に基づき、2011年度収支予算書案の説明を行った（第2号議案）。
3. 渡邊副理事長による次期理事長選任経過の説明に続き、竹田理事が資料に基づいて2011-2012年度役員（理事長以下各理事、幹事）候補者の紹介を行った（第3号議案）。
4. 竹田理事が資料に基づき2011-2012年度選挙管理委員候補者の紹介を行った（第4号議案）。
5. 竹田理事より資料に沿って、これまで当然の事とされてきた「役員は非常勤なので報酬は一切支払われない」ということを、文科省の指導に基づき成文化するべく新たな細則を制定することが説明された（第5号議案）。
6. 第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案、はいずれも賛成多数で承認された。

各種報告：

1. 竹田理事が資料に基づいて2011-2012年度の各委員会における新委員メンバー（評議員会で承認を受けて確定）の紹介を行った。
2. 竹田理事から、「現代の天文学」17巻の全巻刊行が達成され、この目的のために活動していた創立100周年記念出版事業編集委員会も任務がほぼ終わったので、2010年限りで本委員会は解散して関連内規も廃止される運びとなり、理事会と評議員会で承認されたことが報告された。また岡村委員長から関係者へ謝意が表された。
3. 海部宣男氏より日本学術会議に関する現状の報告があった。提言書「日本の展望-学術会議からの提言2010」とそのフォローアップとして出した勧告、大型将来計画のマスタープランの状況と重力波のLCGTなど一部は今年度予算化されたこと、学術会議会員・連携会員の改選の件、など。またこれに関連して國枝理事長から「現在募集中の『大型プロジェクト推進に関するパブリックコメント』もぜひ多くの人に出してほしい」との呼びかけがあった。
4. 岡村定矩氏よりIAU関連の話題が報告された。我が国がIAU会員数で世界第三位になったこと、海部氏が次期IAU会長に選出される予定であること、IAUの戦略計画「発展途上国のための天文学」の採択、IAUと日本との関わりをもっと深めるべく年会や天文月報で随時紹介に努めること、など。
5. 渡邊副理事長より、このたび新たに発足した日本天文協議会（日本の天文研究・教育・普及・アマチュア活動を結ぶ全国組織として団体を会員とするもの）に日本天文学会も加わったことが報告され、組織や構成についての説明がなされた。
6. 國枝理事長より科学関係の予算が大きく削減されかねない現状に鑑み、日本の科学を守るために、「目先の事のみでなくもっと将来のことも大局的な見に立ってほしい」との趣旨の29学会合同の声明文を出したことが報告された。
7. 半田教育理事より、巡回企画展「ガリレオの天体観測から400年 宇宙の謎を解き明かす」は丁度現在金沢市の「いしかわ子ども交流センター」に来ているので、ぜひこの機会に訪ねてほしいとの呼びかけがあった。

2010年10月20日

議長：國枝秀世

署名人：千葉証司

署名人：比田井昌英